

- R3年11月18日・19日に『建設技術フォーラム2021inちゅうごく』がオンラインで開催
- フォーラムでは、「地方自治体におけるインフラメンテナンスの未来とインフラDX」をテーマとする **基調講演・パネルディスカッションを実施(LIVE配信)**
- 自治体が抱える課題の解消に向け、幅広い業種のパネリストによる熱い議論を展開

建設技術フォーラム2021inちゅうごく

「防災・減災、国土強靱化とインフラDX」
～地域を守り、未来を創る建設技術～

開催概要
ご挨拶・講演・パネルディスカッション
セミナー発表
技術展示
学生交流広場
ご祝辞

●新着情報
2021/11/18 アサヒ新聞の動画の掲載が予定されています。その際は掲載を是非ご覧ください。



中国地整YouTubeにて配信中

コーディネーター・パネリスト紹介及び主な意見

コーディネーター【大学】



広島大学名誉教授
藤井 堅氏

地方自治体が管理するインフラ長寿命化は、利用者が「日々の生活の中で、インフラを自分のものと思い大切に使う」など気運の醸成が重要。

パネリスト【地方自治体】



呉市土木部長
吉本 正秀氏

新技術採用にあたり、その妥当性や根拠整理に多大な労力を要している状況。また、集約・撤去について市民サービス低下に伴う地元の合意形成をどのようにしていくかが課題

パネリスト【地方自治体】



富山市政策参与
植野 芳彦氏

パネルディスカッションに先立ち貴重講演にてご講演。インフラメンテナンスに必要な『ヒト』新たな思考のリーダー『モノ』モニタリングシステム、新技術『カネ』長期財政のシミュレーション

パネリスト【民間団体】



市民団体「橋守隊CATS-B」代表
今井 努氏

市民は、インフラメンテナンスを知らないし、興味もない。まずはインフラのメンテナンスの重要性を知って貰うことが必要。そこから、インフラメンテナンスが市民にとっての「他人事」から「自分事」に変わっていく。

パネリスト【民間】



西日本高速道路エンジニアリング中国(株)
今代 稔氏

近年の傾向として、点検において新技術の導入が加速。3次元データ等を活用した新技術の開発や導入促進、これらを活用する人材育成に取り組んでいる。

パネリスト【国土交通省】



国土交通省道路局道路メンテナンス企画課長
清水 将之氏

全国の修繕の進捗状況からこれまでの予算水準では、予防保全への移行に約20年かかる。今後も新技術活用促進により、費用削減や作業環境等改善を図る必要。点検支援技術の性能カタログ等も活用頂きたい。

【基調講演】<https://youtu.be/DMPWqTUE5aU>

【パネルディスカッション】<https://youtu.be/Wgc3p5TOqnM>